

おおだの森のこれまで

仰ぎ見る山、おおだの森

おおだの森は「仰ぎ見る」を地元言葉で「おおたえる」と言うのが由来で、オオダ山、相山、弘法山の3つの山並みからなります。これらの山は、昔から焚きもの山として雑木林が多く、四季の移ろいが美しい豊かな山です。

眺めのよい山、監視哨の歴史

この辺りで一番高く眺望の良いオオダ山には、戦時に敵機の来襲を見張っていた監視哨が設けられ、地元豊富村の兵役前の若者が交代で見張りにあたりました。

戦時中の樫山監視哨(オオ山山頂)



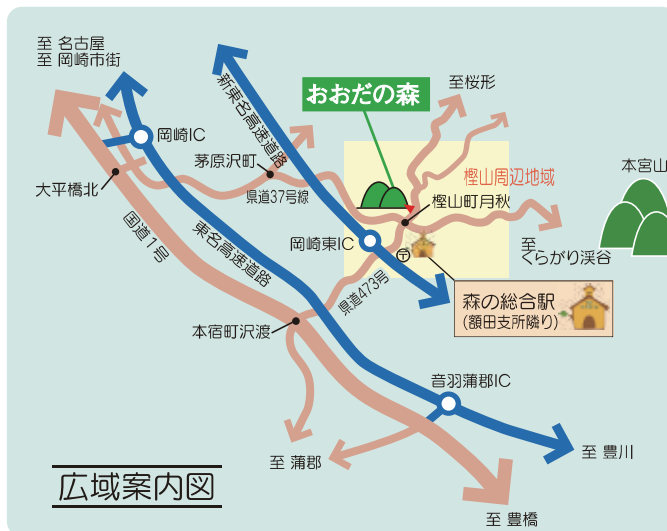
放置された山、戦後の森の衰退

終戦後までは焚きもの山として活用され、定期的な伐採により維持されていましたが、化石燃料の普及とともに薪が必要なくなり、山は次第に放置され、森の活力は衰退していきました。マツくい虫の被害にもあいました。

再生する山、おおだの森

そうした中で、おおだの森を地域のシンボルとして、四季の自然が美しい森に再生する活動が地元の人々によって始まりました。

現在の山頂の展望台と交流館



おおだの森山頂から山並みを望む (撮影:鈴木勝男)

おおだの森は「おかざき水とみどりの森の駅」に指定されています。



お問合せは

森の総合駅 電話:0564-82-2511
午前8時30分～午後5時15分
月曜休館(祝日の場合はその翌日)
ホームページ <http://www.morinoeki.jp>

岡崎市 環境部 環境保全課 〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地
電話:0564-23-6921 FAX:0564-23-6536

おおだの森

見どころ散策マップ

ようこそ!
おおたえる山
おおだの森へ

おおだの森の育成活動

来たときよりも美しく、森は生きている

おおだの森のウェルカムボードより

長い間放置され荒れた山となっていたおおだの森を、四季を感じる情緒豊かな森に再生するため、地元の人々が中心になって、間伐や下草刈り、植樹などの森の手入れを楽しみながら行っています。将来は地域のシンボルとなるように、桜や紅葉を植樹して育てています。



おおだの森の手入れ



山桜の植樹



活動の後の楽しいひととき



山留舞会の仲間たち

おおだの森の保全活動に参加しませんか。

やるまいかい

山留舞会 (おおだの森保護事業者会)

定例活動日: 毎月第2・4日曜日 9~12時

おおだの森ふもとの山留舞会クラブハウス集合

※活動日が変更になることもあります。

詳しくは裏面の「森の総合駅」にお問い合わせください。

いっしょにやるまい!

おおだの森周辺の見どころ

0 500 1000m

桜井寺

平安時代初期の建立。空海開基の真言宗高野山の末寺、厄除け寺としても有名。県重要文化財指定の磐(けい)があり、県下在銘金石文として最古。境内には貴重なシイの自然林がある。



寺野の大楠

昭和43年、県の天然記念物に指定。県下第3位の大楠。樹齢推定1000年。根張りが雄大怪異。



寺野の大楠

夏山八幡宮

古代より額田郡の祖人をまつてきた。旧暦9月9日に火祭り神事がとり行われる。(夏山の火祭り)



夏山八幡宮



夏山の根上り杉

夏山の諏訪社にそびえ立つ大木。樹齢800~1000年といわれ、浮き上がった根が大蛇のよう。

至岡崎市街
岡崎IC

(※注)
新嶽山への山歩き道は整備されていませんので、歩く際は各自の責任でお願いします。



小太郎石

昔、榎山に力持ちの小太郎という大男がいた。彼が沢にかけたという石に後日、渥美の歌人磯丸が詠んだ歌を刻んである。

おおだの森



森の総合駅
(額田支所隣り)

天恩寺



天恩寺

室町時代初期の建立で現在は臨済宗妙心寺派。仏殿・山門は室町時代の代表的建築物として明治40年国指定重要文化財に。毎年7月24日寺宝の虫干し開催。家康公ゆかりの見返りの大杉が有名。

学校川のホタル



学校川のホタル

寺前川(通称:学校川)には毎年5月下旬から6月中旬ごろ天然のホタルが舞う。上流のホタルより約1週間早く飛ぶ。

四季が美しいおおだの森の将来絵図
作画:高橋誠(元 鳥川小学校長)



榎山の春祭り

須賀神社で毎年4月第2日曜に行われ、地区ごとの山車が町を練り歩く。



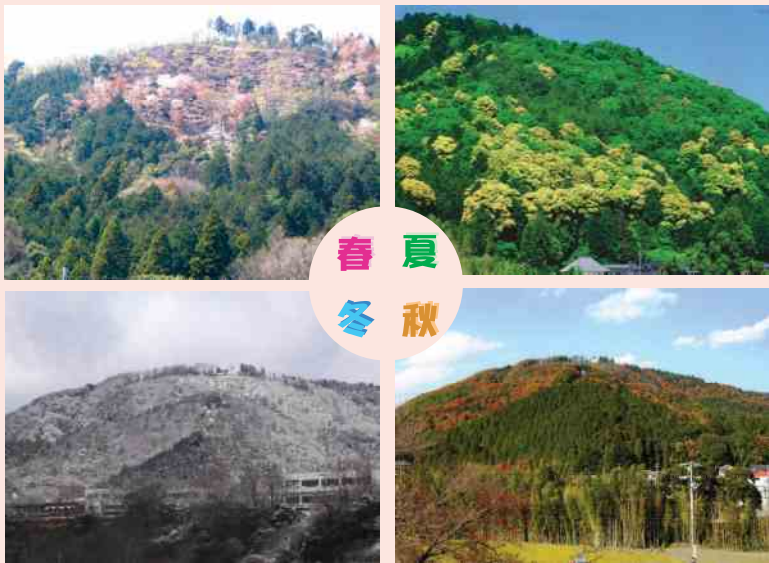
鹿勝川の庚申堂

庚申様がまつられているお堂。60年に一度の庚申の年に御開帳。江戸時代後期渥美の歌人磯丸が一時ここに逗留。毘沙門天立像2体あり。





おおだの森の四季



春
夏
冬
秋



山頂からの眺望

戦時中に監視哨が置かれたくらい、山頂からの眺めは素晴らしいところです。本宮山の山並みはもちろん、晴れた日には岡崎市街や遠く名古屋のタワーが見えるかも。毎年1月1日早朝には、市民が集まって山並みからの初日の出を迎えます。みなさんもぜひ来てください。

※展望台に登ることはできますが、足元に注意してけがのないよう各自の責任をお願いします。



山頂からの初日の出



ヤマザクラ



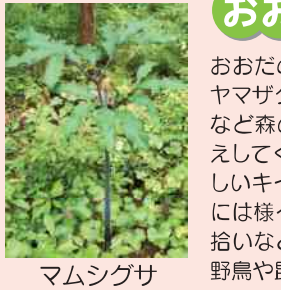
アセビ



ミツバツツジ



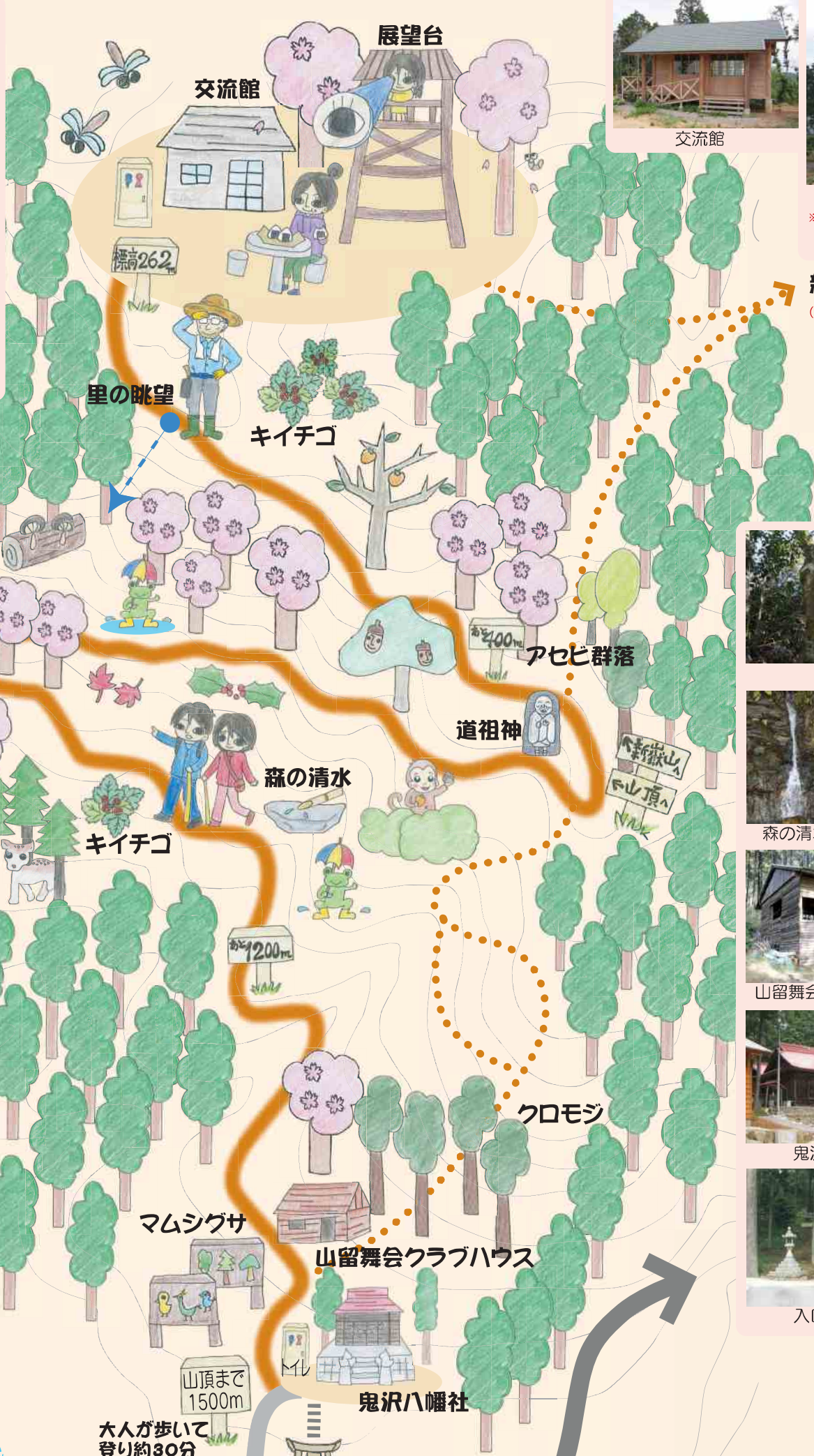
キイチゴ



マムシグサ

おおだの森の自然

おおだの森は春から初夏にかけてヤマザクラやミツバツツジ、アセビなど森のあちこちで花々がお出迎えてくれます。初夏にはみずみずしいキイチゴの実がおいしそう。秋には様々な木々が紅葉してドングリ拾いなども楽しめます。季節ごとの野鳥や昆虫たちにも出会えるかも。



交流館



展望台

※登る時は足元に注意してけがのないよう各自の責任をお願いします。

新嶽山へ

(※注) 新嶽山への山歩き道は整備されていませんので、歩く際は各自の責任をお願いします。



道祖神



森の清水 ※飲めません



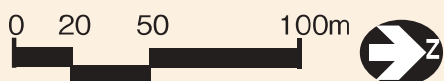
山留舞会クラブハウス



鬼沢八幡社



入口の鳥居



おおだの森の看板を曲がる



おおだの森の看板を曲がる



おおだの森を散策する時のお願い

- ・出会った人には気持ちよく挨拶しましょう。
- ・けがのないよう各自で責任を持って行動しましょう。
- ・マムシやスズメバチがいます。森の中は注意してください。
- ・ゴミは必ず持ち帰りましょう。“来たときよりも美しく”
- ・火は使えません。
- ・山頂の交流館や展望台、山留舞会クラブハウスは地域の方々がつ作った大切な施設です。落書きや傷をつけないよう大切に願います。